



# 横浜中地区

横浜平沼 商工 光陵 希望ヶ丘 同(定) 二俣川看護福祉 旭 松陽 瀬谷  
金井 舞岡 横浜緑園総合 瀬谷西 保土ヶ谷 横浜桜陽 横浜旭陵 上矢部



日時	平成 25 年 10 月 26 日 (土) 13:00~16:40
会場	横浜市開港記念会館
出席者	303 名
内容	<p>◆平成 25 年度 エイズ感染予防・薬物乱用防止等啓発研修会 希望ヶ丘高等学校 校長 福島 繁</p> <p>◆研究発表Ⅰ 二俣川看護福祉高等学校 P T A 『グリーンカーテンプロジェクト』 ～ゴーヤを通して緑化と食育を考える～</p> <p>◆研究発表Ⅱ 光陵高等学校 P T A 『Let's enjoy KORYO PTA』 ～やってみようよ！できることから～</p> <p>◆講演『青年期の心理と高校生の親として子どもへの関わり方』 鈴木 由美 氏 (聖徳大学児童学部 教授)</p>

## ◆平成 25 年度 エイズ感染予防・薬物乱用防止等啓発研修会

希望ヶ丘高等学校 校長 福島 繁

最近の薬物情勢の説明、啓発活動を通して薬物乱用の根絶を図る必要があることを説明しました。

※配布物 薬物乱用防止啓発パンフレット「あなたの人生を守るために」「脱法ハーブは買わない 使わない かわらない」 エイズ感染予防啓発パンフレット「学ぼう 防ごう 身近な A I D S」

## ◆研究発表Ⅰ 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校 P T A

グリーンカーテンプロジェクト ～ゴーヤを通して緑化と食育を考える～

### はじめに

本校は、普通科ではなく、各学年とも看護科 2 クラス・福祉科 2 クラスの計 4 クラスあり、3 学年・12 クラスで構成されています。小規模の学校ではありますが、専門性の高い看護・福祉の教育を行っており、県下において学区制があった頃より、全県 1 区 (通学区域が県内全域) でした。生徒たちは、中学卒業時点で、看護や福祉の道を志し、通学に多くの時間をかける労もいとわず入学いたします。

将来、ヒューマンケアサービスに携わることとなる生徒たちですので、専門の技術はもちろんですが、優しさや思いやり、命を大切に慈しむ気持ちなどの心を育てる教育を学校は行っており、P T A 活動では、そうした学校の取組みを応援していきたいと思っております。グリーンカーテンプロジェクトは、その応援のひとつの形としてスタートいたしました。

## 1 私たちの P T A 活動 “ 明るく 楽しく 無理をせず ”

組織構成 総務役員会 (会長 1 名、副会長 2 名、書記・会計は各 2 名)

文化委員会 (各クラス 1 名ずつ 計 1 2 名)

広報委員会 (各クラス 1 名ずつ 計 1 2 名)

学年委員会 (各クラス 2 名ずつ 計 2 4 名)

会計監査委員 (2 名)

生徒も遠方通学であれば、もちろん保護者も遠方から、PTA活動に参加しております。効率よく活動するために、数年前に委員会数を絞り、活動日も午前にも各委員会を、午後にも合同役員会を行うなど、遠方からでも参加しやすいように日程を組み、負担のかからないような配慮をしております。

主な活動は、上記の役員が中心に行っておりますが、年度初めにボランティアでの協力者を募り活動をサポートいただいています。本当に多くの保護者の皆様の協力により、明るく楽しく、無理をせずに活動を行っております。

## 2 グリーンカーテンプロジェクト

生徒・教職員・PTAの参加により、土入れ、苗植え、水やり、摘心、追肥をし、グリーンカーテンを作り、実ったゴーヤを収穫、料理し食べる。一連の活動は、①環境への意識啓発：身近な生活空間の快適性を考える（地球温暖化、省エネ、緑化による癒しの効果や空間演出効果）。②食育：食べ物や人への感謝の気持ち、食文化の伝承、食べることが生きるための基盤であると感じ、食の重要性を考える。という効果を期待し行ったものである。収穫されたゴーヤを沖縄修学旅行の事前学習として、調理実習という形で沖縄の郷土料理を作り、試食した生徒たちの感想からは、感謝の言葉が多く、沢山のゴーヤの実りのように、実りあるプロジェクトであったことがうかがえます。



## ◆研究発表Ⅱ 神奈川県立光陵高等学校PTA

Let's enjoy!! KORYO PTA~やってみようよ!できることから~

光陵高校PTAの取り組みの中で、今や我が校にしっかりと根付いている「光陵サポーターズ」の具体的な活動内容について、ご紹介させていただきます。

### 1 光陵PTA組織

本部役員（5名）→ 会長・副会長（2名）・会計・書記

常任委員会 → 広報委員会（20名）・企画運営委員会（20名）

少数精鋭の光陵PTA組織を支えてくれているのが、われらが「光陵サポーターズ」・・・

昨年度の実際の活動人数は、延べ243名！

### 2 光陵サポーターズについて

#### (1) サポーターズの魅力

- 自身の余暇を利用して活動できる。
- 年度初めにほとんどの活動日程が決まっているので、予定が立てやすい。
- 活動内容が明確に紹介されている。
- サポーターズ同士で交流が持てる。

#### (2) 登録・連絡方法

- 年度初めに登録。その際、メールアドレスも登録し、伝達はすべてメール配信。
- 直接のやり取りで連絡漏れがなく、個々の意見交換も可能。

#### (3) 活動内容

- あいさつ運動（毎月初め・登校時）
- 街頭キャンペーン（年2回・東戸塚駅前でビラ配り）
- 環境美化活動（草取り・ペンキ塗り・落葉清掃・花植え）
- 光陵祭「ふれあい広場」手伝い
- 教育活動サポート（授業参観・学校説明会・研究発表会・学芸音楽祭等の手伝い）
- 光陵PTAホームページの管理

10年前に立ち上げ、それ以来脈々と受け継いできた、サポーターズ制度。少人数で活動している光陵PTAにとって、頼もしい“助っ人”です。これからも、時代の流れやニーズに沿った形で、どんどん変化させながら、活動を続けていきたいと思えます。



## ◆PPフォーラム報告

「県立高等学校の生徒の携帯電話利用実態及び保護者の意識調査の結果報告」

校長会議生徒指導研究会 金井高等学校 校長 林 忠

県立高等学校の生徒の携帯電話利用実態及び保護者の意識調査をもとに、「携帯電話等について安全な利用」を促すための、適切な指導体制と指導方法の確立についての発表が行われました。

スマートフォン普及のスピードが、予想以上に速く、新たな課題も考えられることから、その利用についての指導体制と指導方法の確立が急務です。トラブルや被害に遭うことについては減少しているものの、適切な利用について家庭での親子の共通理解をさらに深める必要があります。学校での啓発活動について検討し、効果的で効率的な企画、運営が求められます。

上手に利用して賢いユーザーとなれるよう、引き続き、ご家庭と連携しながら取組んでいかなければならない課題であり、今後ともPTAの皆様のご支援、ご鞭撻をお願いします。

## ◆講演 「青年期の心理と高校生の親として子供への関わり方」

鈴木 由美 氏 (聖徳大学児童学部 教授)

### 1 青年期とは

12歳から23歳を指し、大人でもないし、子供でもない時期です。そのなかで高校生は青年期後期にあたります。福島章氏によれば「大人の仲間入りをするまでの期間」です。

### 2 自分探しの時期

青年期の子供は自分探しをしていて、親が自身の経験・事例を語るのはいいことです。親も悩みながら進路を選んだということを知ります。私自身は足を痛めて卓球の道をあきらめ、卓球以外にやり残したことは何かを考えました。そこで勉強していなかったと思い、勉強をやりたいと思うようになりました。そして、勉強を始め、子供と同時に大学に進学しました。高校生は進路に迷うときですが、子供のやりたいことを第一に考えてあげるのがよいと思います。

男の子は父親を、女の子は母親をライバルとみなして成長するので、同性の親が直接会話してもうまいかないことがあります。それは子供がちゃんと成長している証拠です。

青年期はまた自分の生きている意味を考えます。この問いに正解はありません。結局はそれぞれの哲学にいきつくのだと思います。あれこれ人生の意味を考えても、人生は一回きりなので比較は難しいです。親それぞれが持っている哲学を伝えてあげてください。

### 3 親への反抗は自立への一歩

青年期の子供には発散する場が必要です。多くの子供は学校でがまんして、家で発散します。正常なことです。子供の発散の受け皿になる母親が大変ですので、母親は発散する場が必要になります。カラオケでも喫茶店でもいいので発散する場をみつけてください。

子供たちは自分の価値観や理想を確立しようと努力していますが、なかなか難しいことです。そういうとき、消去法で考えるのも一法です。したくないことやなことをあげてみると、やりたいことが見えてくる場合があります。最近では大学入試で複数学部を同時に受験できるお得な制度がありますが、この制度で受験すると、点数によってあまり気が進まない学部に進まざるを得ないことにもなります。そうすると入学後にづらい。現在、私立大学の退学者が非常に多いのも、不本意な学部に入ってしまったことが原因としてあります。

### 4 将来をいろいろ悩むとき

将来について悩むとき、友達が存在が大切です。しかし、最近は友達づきあいも希薄化していて、よい友人関係がない場合もあります。そういうとき、親が友達のかわりを務めることになります。ある調査によると、女の子は相談相手の一番が友達、二番が親ですが、男の子は一番が友達、二番がペットだそうです。案外、ペットの存在も子供の精神安定には大きいのかもかもしれません。

子供がさまざまな行動をした場合、親はとまどうことがあります。子供の行動には必ず理由があります。それを考えてください。そして子供は親からはみえなくても確実に成長しているものです。

#### 5 心はどこにあるのだろうか

心は脳にあります。研究によると、人の脳にはニューロンが150億くらいあり、3歳くらいまでに数が決まるそうです。そのなかに幸せを感じるニューロン＝スピンドルニューロンというのがあります。これが伸びるとストレスが強くなることがわかりました。では、ニューロンはどうすれば伸びるのか。美しい風景をみたり、美味しいものを食べたり、一生懸命やった達成感を味わうなどがありますが、一番伸びるのは、一生懸命やって、ひとに褒められたときです。ぜひ、親自身もニューロンを伸ばし、子どものも伸ばしてあげるように接してあげてください。

